Chemistry with a heart
TOKUYAMA

化学で答を出す。
TOKUYAMA

auカブコム証券
オンラインIRセミナー説明資料

2020年11月16日

株式会社トクヤマ（証券コード：4043）

CSR推進室　広報・IRグループリーダー
小林 太郎

CONTENTS

― 説明内容 ―

1. 概要
2. 主要拠点
3. 暮らしの中のトクヤマ
4. 身近にある製品
5. 沿革
6. 競争力の源泉 ～徳山製造所～
7. セメント工場活用による循環型社会への貢献
8. 当期業績予想・業績推移
9. 事業ポートフォリオ
10. 成長事業の取り組み（ICT、ヘルスケア）
11. CO_2排出量削減の取り組み
12. 株主還元について

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

©2020 Tokuyama Corporation. All rights reserved.

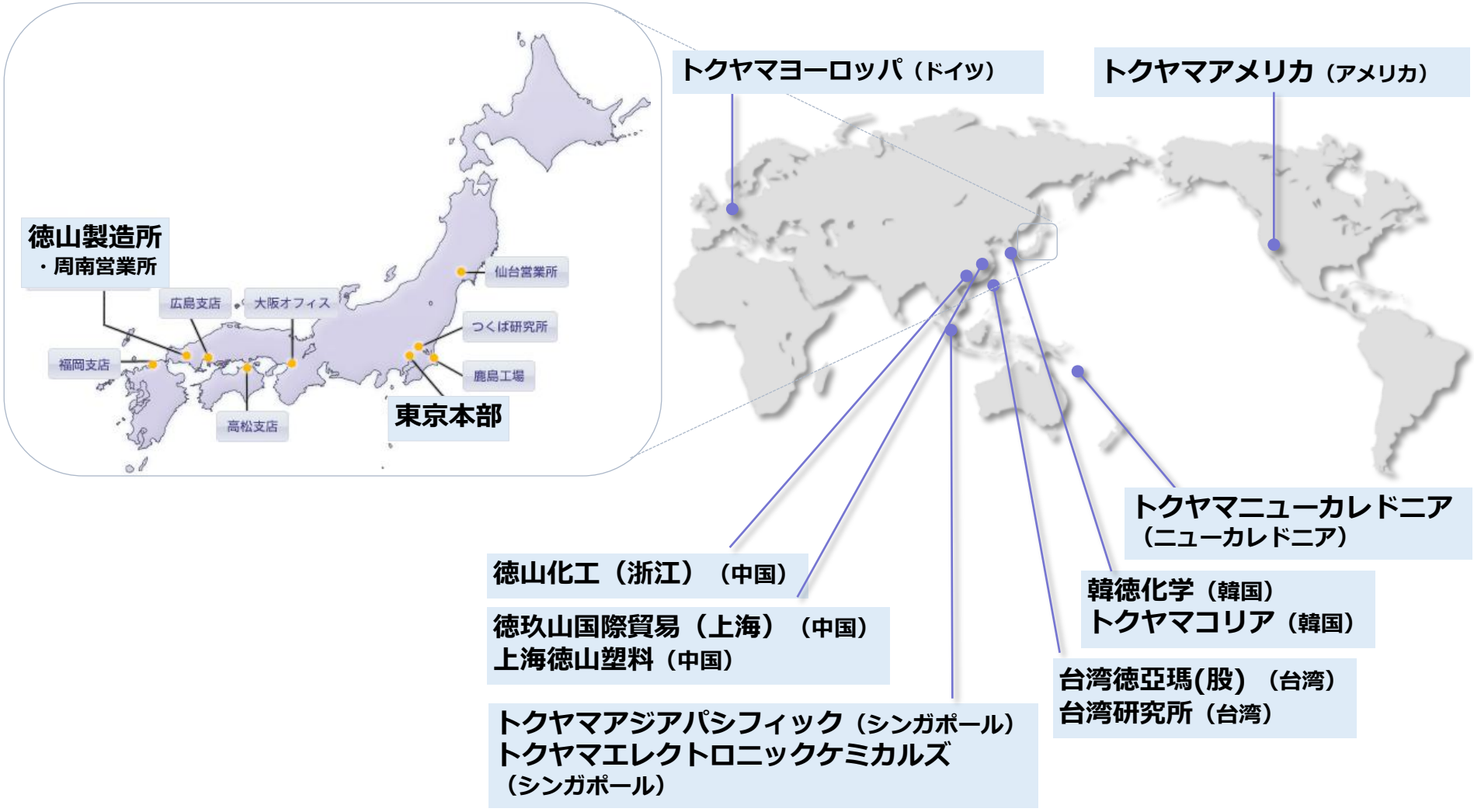
1. 概要

創立	1918年2月16日（旧社名：徳山曹達）
所在地	**東京本部** 東京都千代田区外神田1-7-5 フロントプレイス秋葉原 **徳山製造所（本店所在地）** 山口県周南市御影町1-1
代表者	横田（よこた）　浩（ひろし）
資本金	100億円　（2020年3月末現在）
従業員数	5,679名 （2020年3月末現在、連結ベース）
連結売上高	3,160億円（2019年度）
証券コード	4043　（化学） （2012年9月より日経平均銘柄） （2019年9月よりJPX日経400銘柄）
株式売買単位	100株

▲横田社長。徳山製造所にて撮影

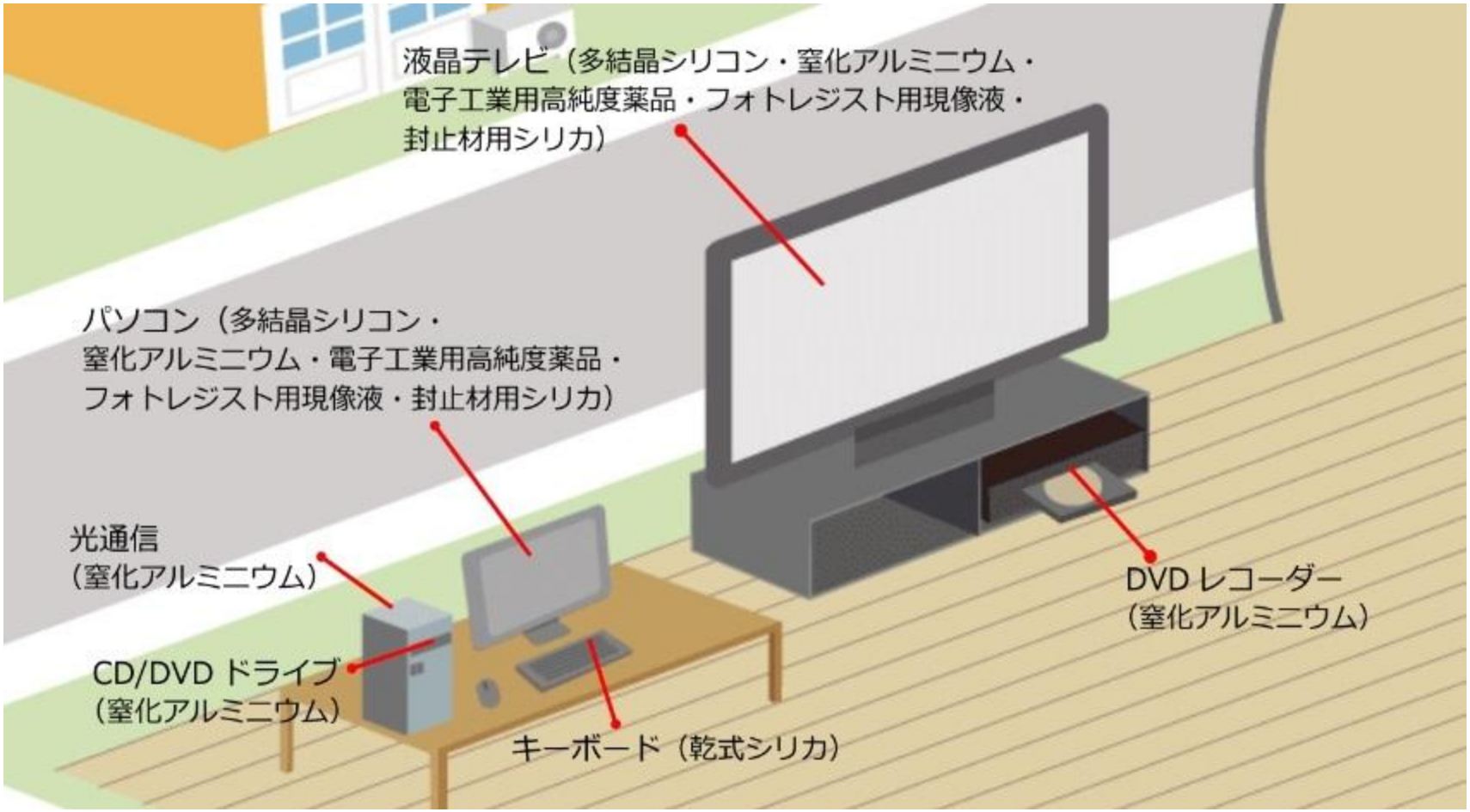
©2020 Tokuyama Corporation. All rights reserved.

2. 主要拠点



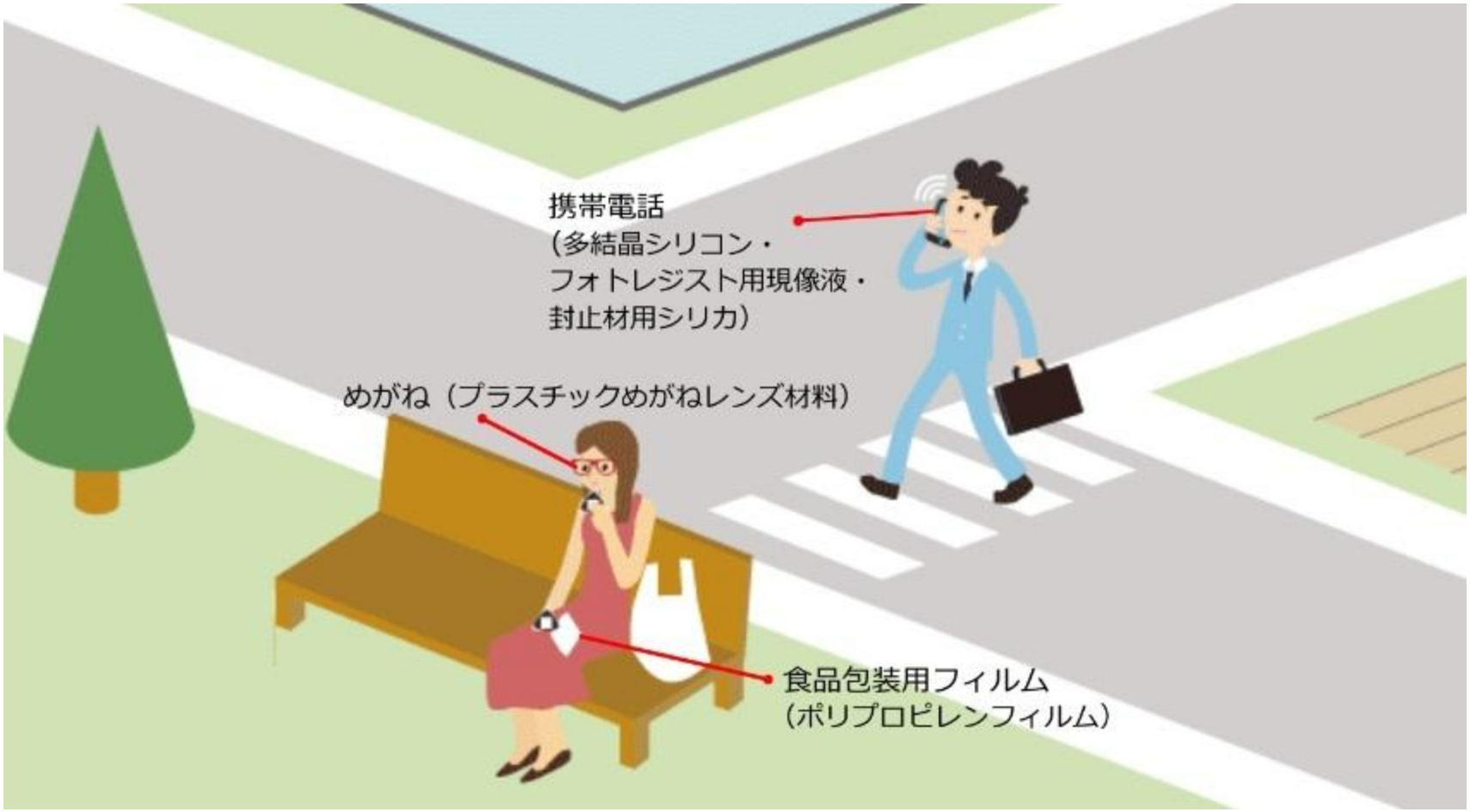
©2020 Tokuyama Corporation. All rights reserved.

3. 暮らしの中のトクヤマ



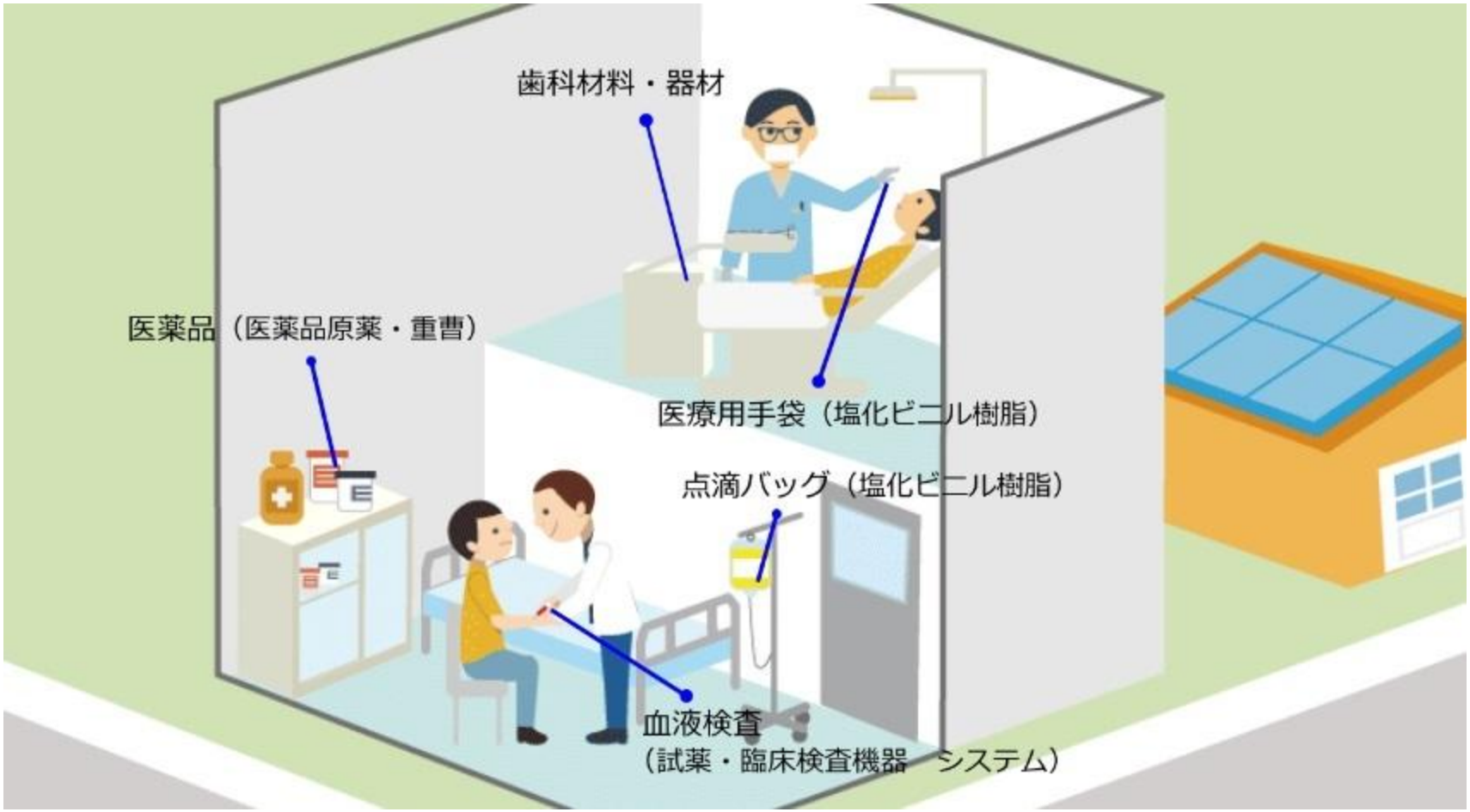
©2020 Tokuyama Corporation. All rights reserved.

3. 暮らしの中のトクヤマ



©2020 Tokuyama Corporation. All rights reserved.

3. 暮らしの中のトクヤマ



©2020 Tokuyama Corporation. All rights reserved.

4. 身近にある製品

歯科充填用コンポジットレジン
（㈱トクヤマデンタル「オムニクロマ」）

紙おむつ用バックシート
（微多孔質フィルム「ポーラム®」）

高純度多結晶シリコン
（半導体用ウエハの原料）

©2020 Tokuyama Corporation. All rights reserved.

5. 沿革

創立者　岩井勝次郎

岩井商店（現 双日）が設立した代表的な会社（最勝会）
ダイセル、富士フイルム、トクヤマ、
関西ペイント、日本橋梁、トーア紡

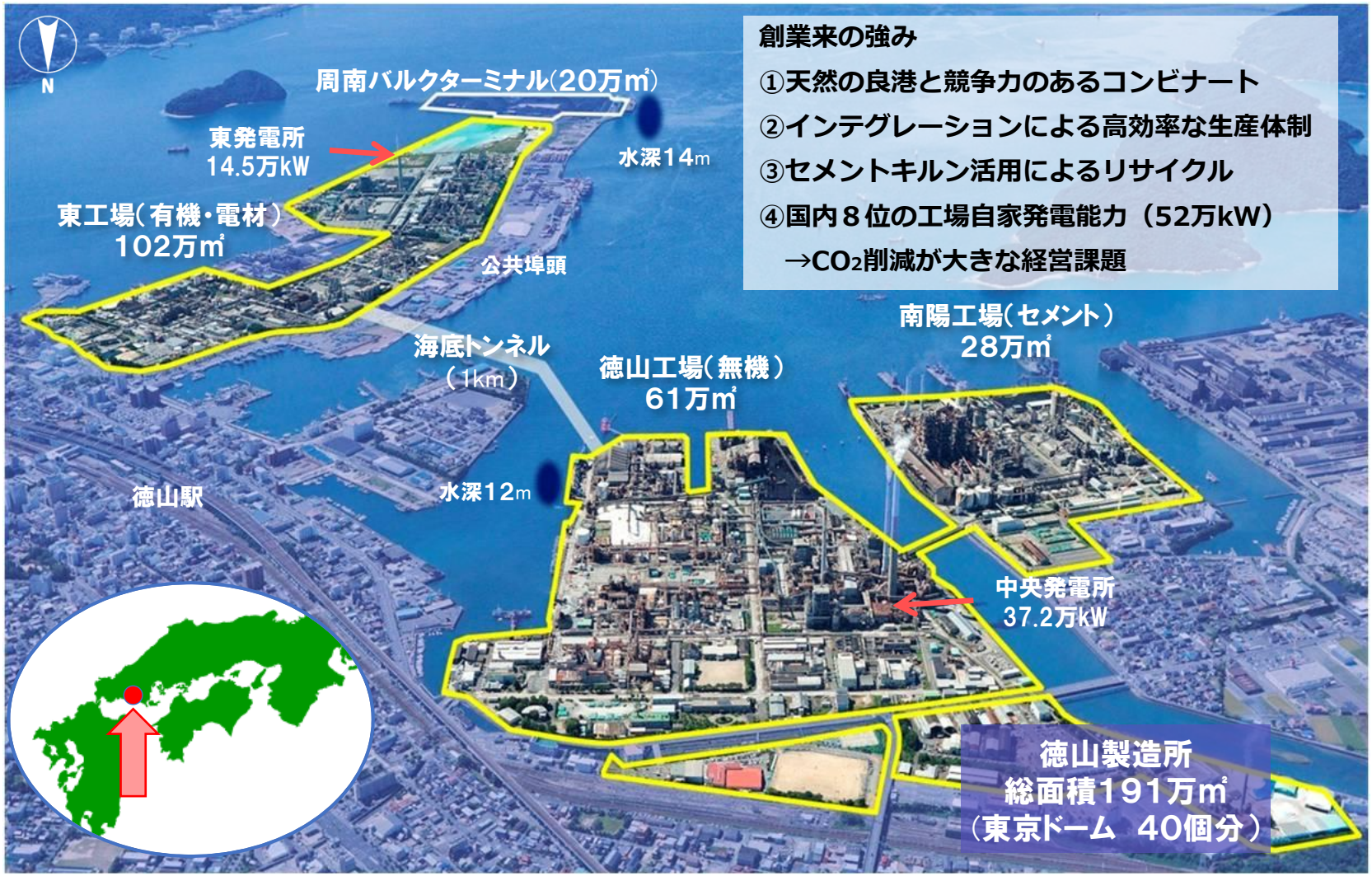
事業	ソーダ専業(ｿｰﾀﾞ灰)	無機総合化学　（セメント、苛性ソーダ他）	
		石油化学　（塩化ビニル樹脂他）	
			スペシャリティー・加工型事業（多結晶シリコン他）
社名	日本曹達工業（ソーダ）	徳山曹達（ソーダ）	トクヤマ

年												
1918	1920	1930	1936	1940	1950	1960	1970	1980	1990	1994	2000	2010	2020

©2020 Tokuyama Corporation. All rights reserved.

6. 競争力の源泉～徳山製造所

無機・有機化学、セメント、電子材料などの工場が複合的に集積し、原料・製品・副産物・廃棄物を相互に有効活用できるインテグレーションを形成



創業来の強み

①天然の良港と競争力のあるコンビナート

②インテグレーションによる高効率な生産体制

③セメントキルン活用によるリサイクル

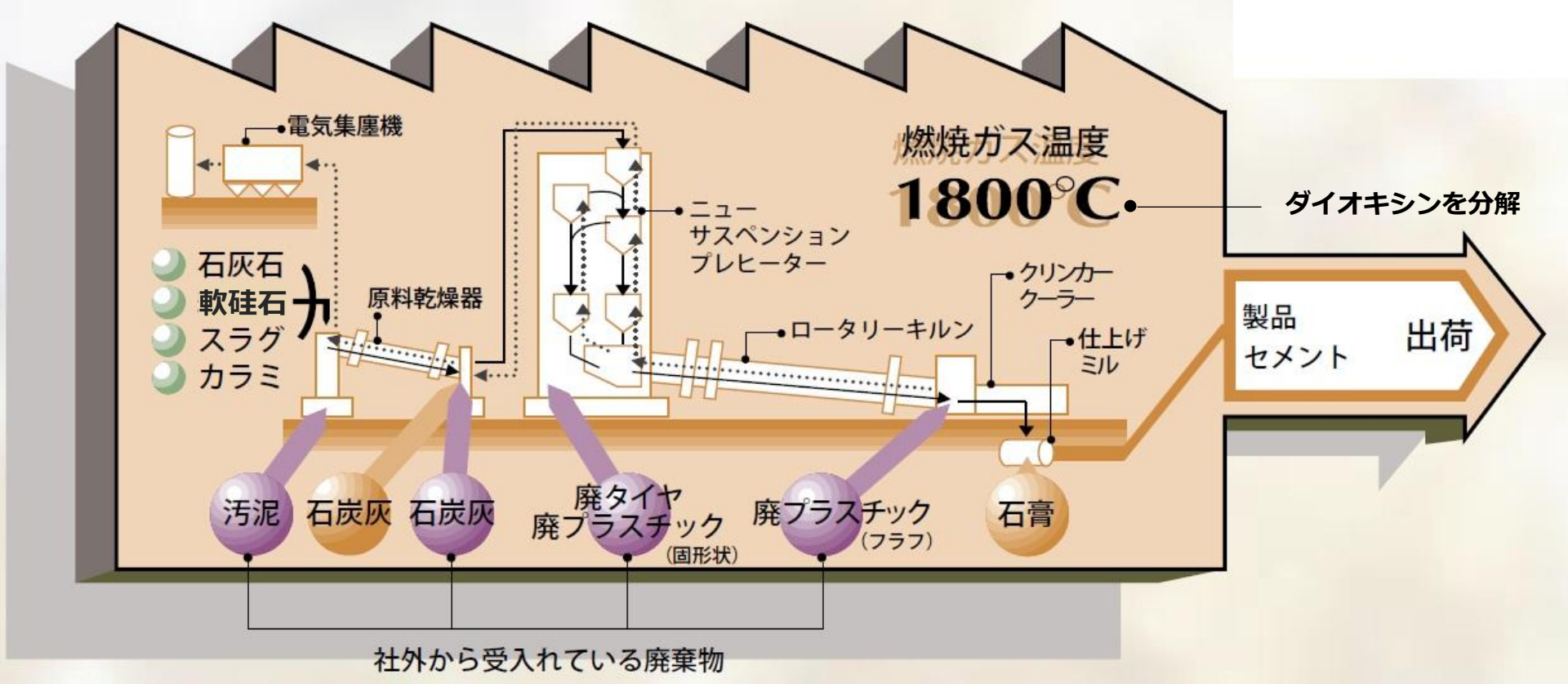
④国内８位の工場自家発電能力（52万kW）

→CO_2削減が大きな経営課題

©2020 Tokuyama Corporation. All rights reserved.

7. セメント工場活用による循環型社会への貢献

セメント製造の工程で廃棄物を原料の一部として受け入れて利用することにより、循環型社会の実現に貢献しています。



廃棄物・副産物　185万トン

（参考）令和元年台風第15号・第19号　発生災害ごみ：174万トン

©2020 Tokuyama Corporation. All rights reserved.

8. 当期業績予想・業績推移

Chemistry with a heart TOKUYAMA

業績予想（2020年度）

連　結

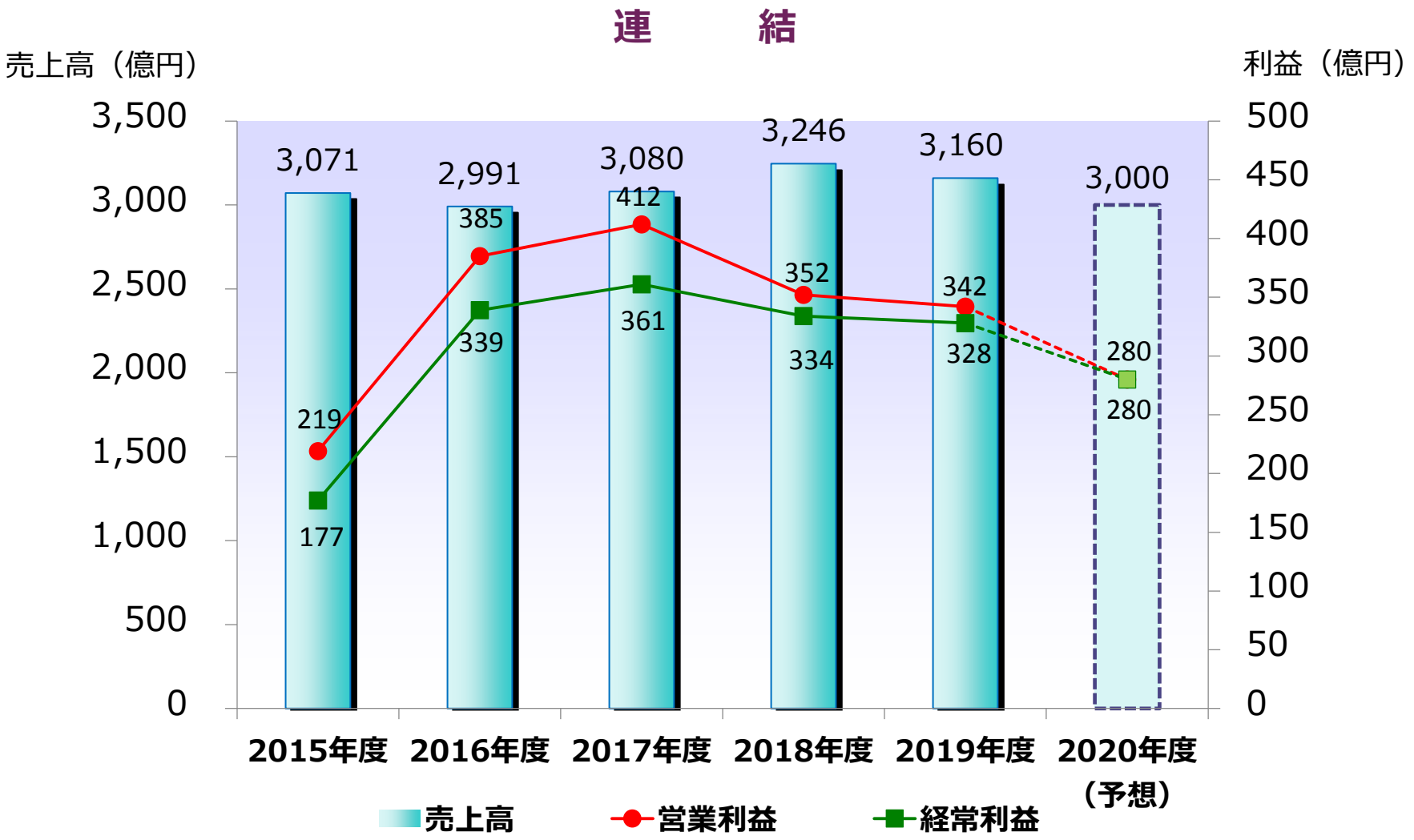
※2020年10月28日公表

売上高	3,000億円	前期比　△5%
営業利益	280 億円	前期比　△18%
親会社株主に帰属する 当期純利益	220 億円	前期比　＋10%

売上高営業利益率	9.3 %
1株当たり当期純利益 (EPS)	316.75 円

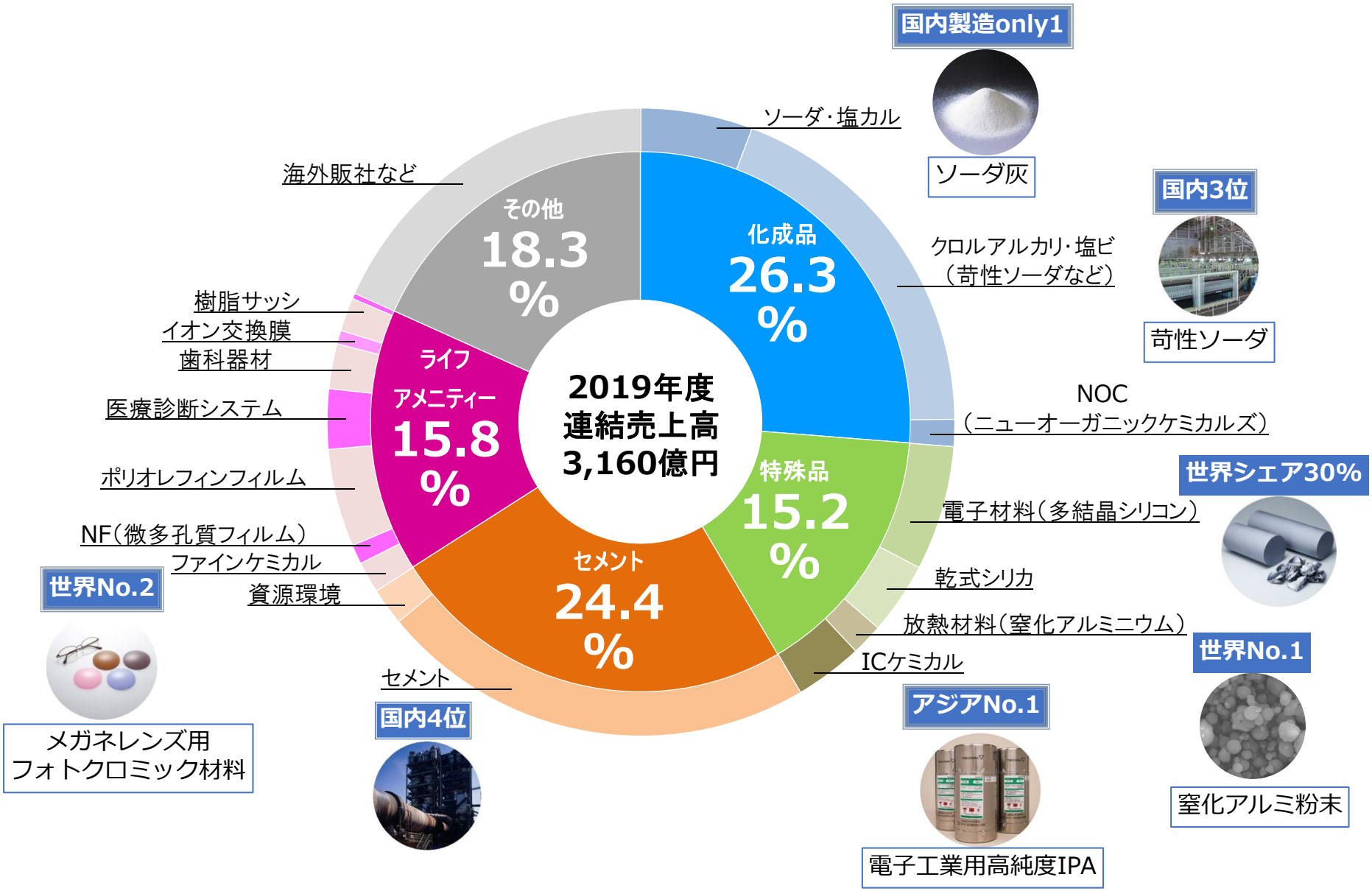
©2020 Tokuyama Corporation. All rights reserved.

8. 当期業績予想・業績推移



©2020 Tokuyama Corporation. All rights reserved.

9. 事業ポートフォリオ

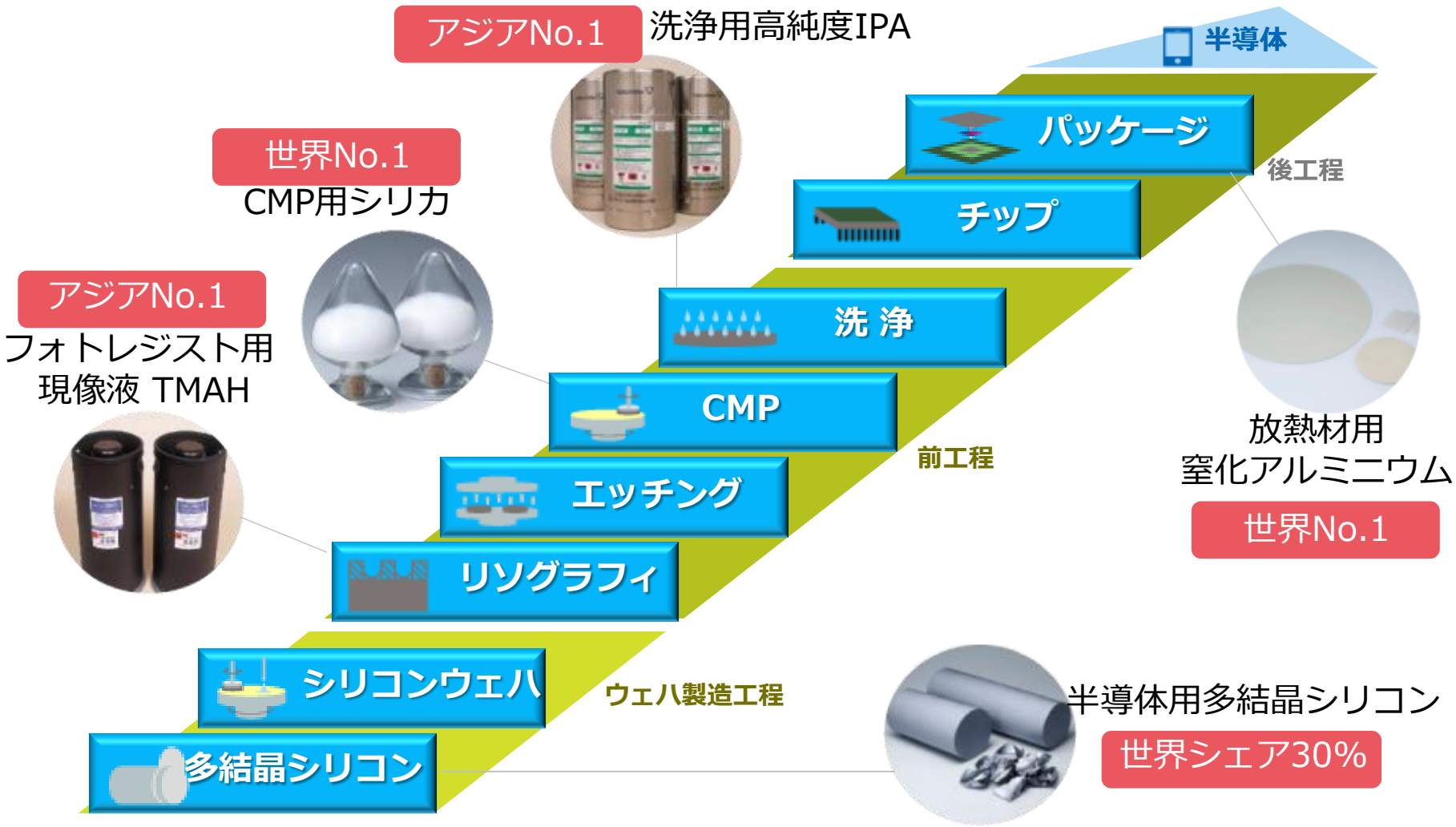


©2020 Tokuyama Corporation. All rights reserved.

10. 成長事業の取り組み（ICT）

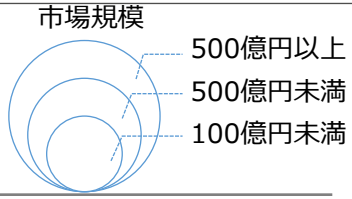
Chemistry with a heart TOKUYAMA

ICT関連製品

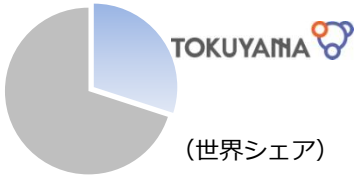
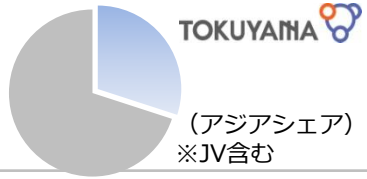
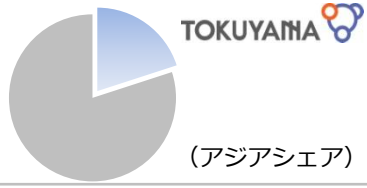
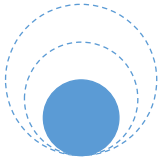
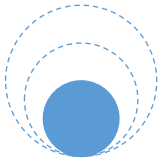


©2020 Tokuyama Corporation. All rights reserved.

10. 成長事業の取り組み（ICT）



ICT関連製品

	取り組み	シェア（イメージ）	市場規模
半導体向け多結晶シリコン	■ 更なる高品質追求による他社との差別化	 TOKUYAMA（世界シェア）	
フォトレジスト用現像液 TMAH	■ 生産能力増強 ‘20年4月　50%増	 TOKUYAMA（アジアシェア）※JV含む	
洗浄用高純度IPA	■ 台湾にIPA製造販売の合弁会社設立（‘22年1月供給開始予定） アジア供給体制の強化	 TOKUYAMA（アジアシェア）	
乾式シリカ	■ CMP用途製品の販売数量増 ■ エレクトロニクス関連（トナー、液晶パネル部材など）のシリカ製品の拡充	TOKUYAMA（世界シェア）	
放熱材	■ 生産能力増強　‘20年4月　40%増 ■ 製品ラインナップの拡充（窒化ケイ素、窒化アルミニウムフィラーなど）	TOKUYAMA（世界シェア）	

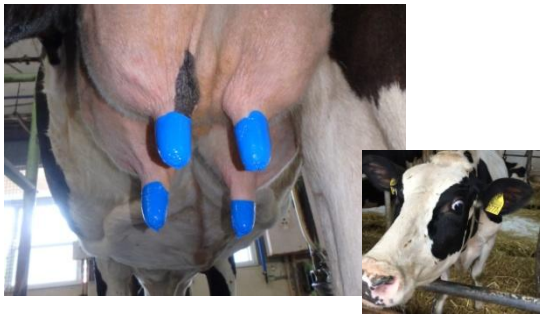
©2020 Tokuyama Corporation. All rights reserved.

10. 成長事業の取り組み（ヘルスケア）

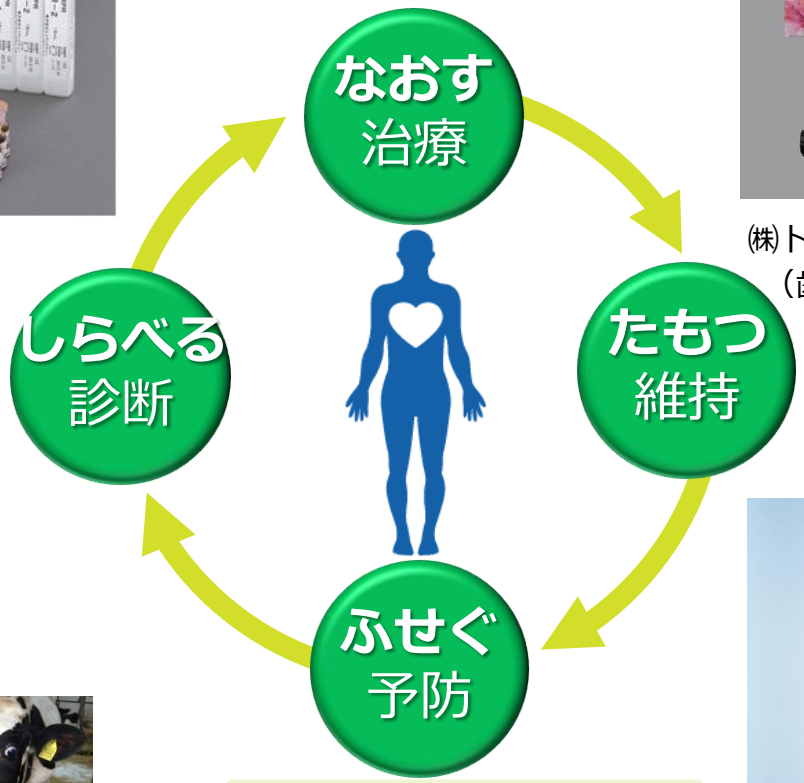
Chemistry with a heart TOKUYAMA

ヘルスケア関連製品

●医療診断システム
●臨床検査試薬
●動物医療周辺材料



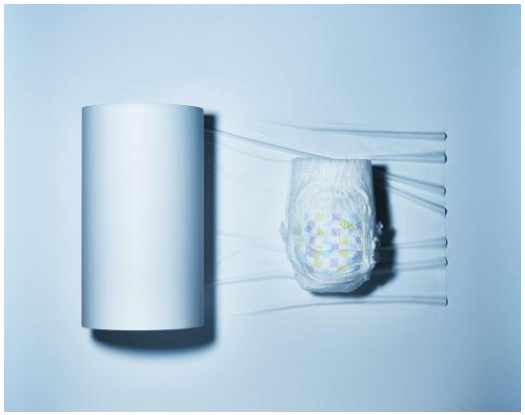
●歯科材料
●医薬品原薬・中間体



●フォトクロミック材料
●乳牛の乳頭保護材
●サプリメント

㈱トクヤマデンタル「オムニクロマ」
（歯科充填用コンポジットレジン）

●微多孔質フィルム
（紙おむつ材料）



©2020 Tokuyama Corporation. All rights reserved.

10. 成長事業の取り組み（ヘルスケア）

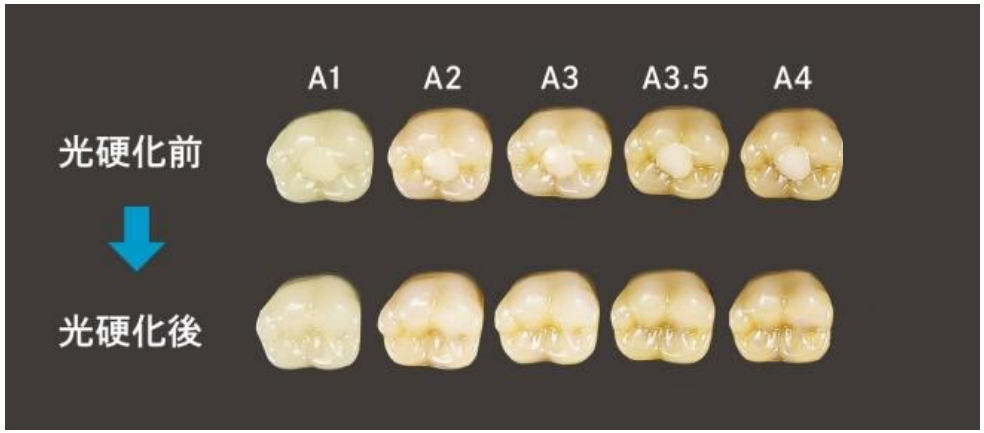
- 医療診断システムの強化
  - ➢現在JASDAQに上場する当社持株比率40.2%の医療診断システム子会社（エイアンドティー）を、来年2月1日実施予定の株式交換により完全子会社化
  - ➢トクヤマの持つ化学合成の技術で診断試薬開発をより一層強化し、診断システム事業を拡大

©2020 Tokuyama Corporation. All rights reserved.

10. 成長事業の取り組み（ヘルスケア）

- 歯科器材
  - ➢充填材の新製品であるオムニクロマ®を、北米、欧州に続いて日本でも11月に上市
  - ➢今後の事業拡大を見込み、鹿島工場での生産設備を拡充中

オムニクロマ®　：天然歯の幅広い色調に一本で対応可能
光を効果的に分光し、周囲の歯の色に同化する



©2020 Tokuyama Corporation. All rights reserved.

11. CO_2排出量削減の取り組み

- 現在、2030年度までにCO_2排出量をBAU比（基準年：2013年）で15%削減する目標を掲げているが、現下の石炭火力を取り巻く厳しい状況を鑑み、新たな目標とその施策を次期中期経営計画の中で策定中

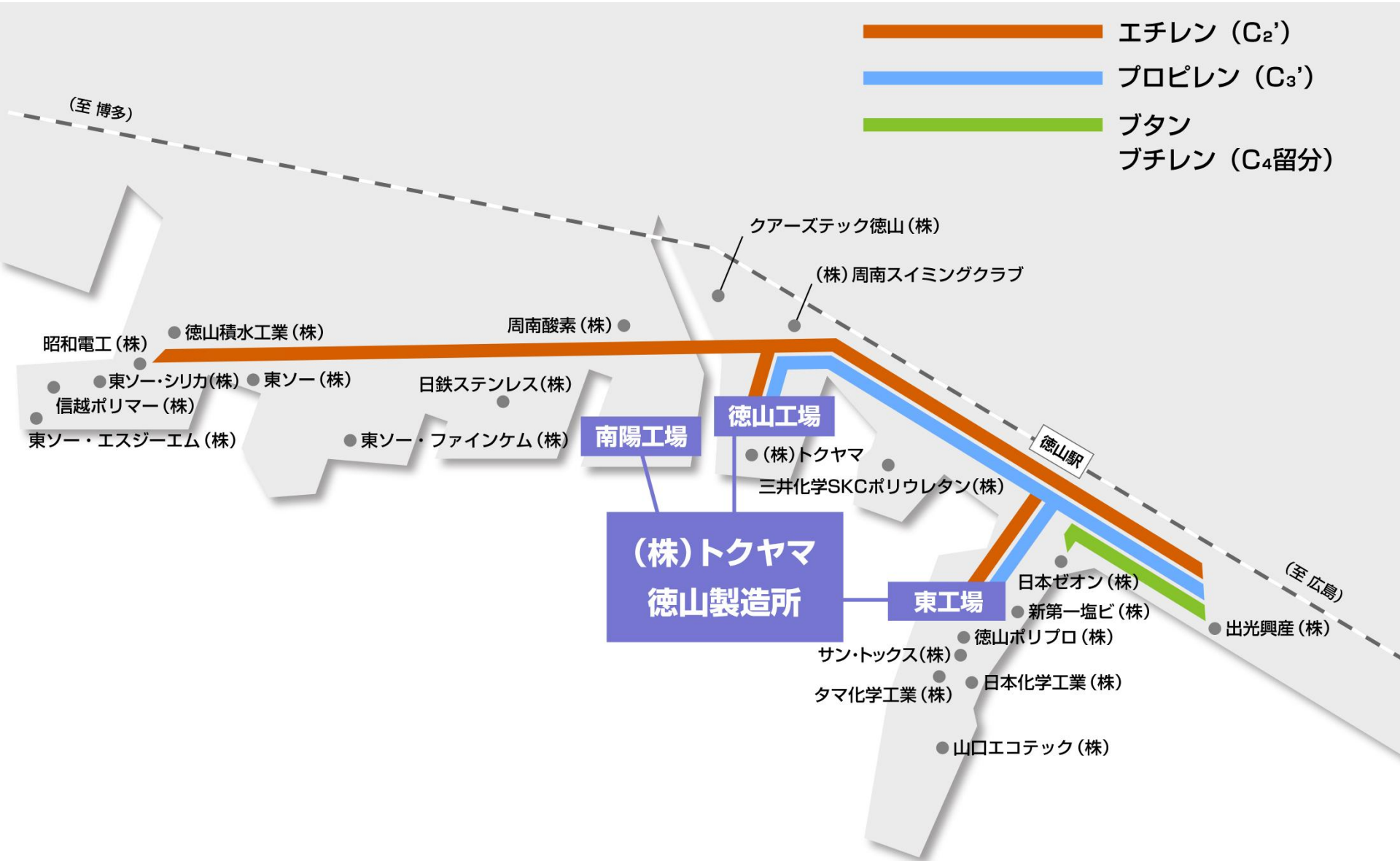
＊ BAU (Business as Usual)：削減対策をしない場合の排出量

- 検討項目
  - ➢エネルギーミックス
    - 具体策（短・中期的、長期的）の検討
  - ➢バイオマス燃料の使用拡大
    - PKS調達量の拡大とコスト削減の取組
    - 新規バイオマス燃料の開発
  - ➢CCU
    - 回収CO_2の使途探索
  - ➢水素
    - 再エネ水素開発
    - 周南コンビナート連携（低炭素コンビナート構想）

©2020 Tokuyama Corporation. All rights reserved.

11. CO_2排出量削減の取り組み

周南コンビナート連携



©2020 Tokuyama Corporation. All rights reserved.

12. 株主還元について

剰余金の配当は、3月末日及び9月末日の最終の株主名簿に記載された株主の方を対象に実施しています。

	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
中間配当金（円）	0.0	0.0	0.0	10.0	25.0	35.0	35.0
期末配当金（円）	0.0	0.0	0.0	20.0	25.0	35.0	(35.0)
配当性向（%）	–	–	–	11.5	10.1	24.4	(22.1)

（注１） 2017年10月1日付で普通株式5株を1株に併合いたしましたが、金額の比較のため、上表では2014年度の配当金から併合を反映した金額としています。
（注２） 2014～2016年度の配当性向は、当期純損失であるため記載しておりません。
（注３） （）内の数値は、予想値です。
（注４） 2017年期末配当金には100周年記念配10円を含みます。

©2020 Tokuyama Corporation. All rights reserved.

Chemistry with a heart

TOKUYAMA